

研究紹介（全体セミナー） 14:00～

開会挨拶：稻葉 忠司（北勢サテライト長・副学長）

主催者挨拶：池浦 良淳（工学研究科長）

建築学コース・専攻の紹介：永井 久也（教授）

各研究室の研究紹介

| | | | |
|------|--|------|-------|
| 講演題目 | 公共施設整備と建築計画研究 | 研究分野 | 建築計画 |
| 講演者 | 大月 淳（准教授） | 研究室名 | 大月研究室 |
| 講演概要 | 人口減少時代の厳しい状況下にあっても様々な背景から整備が続けられる公共施設。そうした事業への参画とそこに伴わってきた研究について紹介します。 | | |

| | | | |
|------|--|------|-----------------------------|
| 講演題目 | 地域イノベーションにつなぐ「共創の場(リビングラボ)」の形成 | 研究分野 | 建築・都市計画、参加型まちづくり、コミュニティデザイン |
| 講演者 | 近藤 早映（准教授） | 研究室名 | 近藤研究室 |
| 講演概要 | 欧州では、多様な主体の参加と共創的活動でイノベーションを生み出す「リビングラボ」が様々な地域で展開されている。我が国でも広く市民参加を促す仕組みとして注目を集め始めているが、縮退する地方部での都市・コミュニティマネジメントへの適用可能性を解説する。 | | |

| | | | |
|------|--|------|---------------|
| 講演題目 | 薄板軽量鋼構造部材の局部座屈と座屈後挙動 | 研究分野 | 建築構造、鋼構造、構造力学 |
| 講演者 | 佐藤 公亮（准教授） | 研究室名 | 佐藤研究室 |
| 講演概要 | 板厚が 2.3 mm 未満と非常に薄い角形鋼管やリップ溝形鋼がスチールハウス等に使用されています。本講演では、薄板部材の最大耐力決定要因である弾性域の局部座屈と座屈後挙動に関する研究を紹介します。 | | |

| | | | |
|------|---|------|----------------|
| 講演題目 | コンクリートブロック塀の劣化診断と非破壊試験方法 | 研究分野 | 建築材料学、コンクリート工学 |
| 講演者 | 三田 紀行（教授） | 研究室名 | 三田研究室 |
| 講演概要 | コンクリートブロック塀の仕組みと劣化メカニズムを説明するとともに、目視検査では判断できない内部の劣化状況を、非破壊検査により診断する手法とその課題について説明します。 | | |

| | | | |
|------|--|------|--------|
| 講演題目 | エネルギー有効利用のための蓄熱技術 | 研究分野 | 建築設備工学 |
| 講演者 | 北野 博亮（准教授） | 研究室名 | 北野研究室 |
| 講演概要 | 関心が高まっている建築物のエネルギー自給に向けて、省エネと創エネに加えエネルギーの需給調整を可能にする蓄熱技術が求められます。研究室で取り組んできた蓄熱槽の設計・性能評価の研究について説明します。 | | |

| | | | |
|------|---|------|--------------|
| 講演題目 | 住宅の断熱性能評価法とその簡易現場実測法 | 研究分野 | 建築環境工学、建築伝熱学 |
| 講演者 | 永井 久也（教授） | 研究室名 | 永井研究室 |
| 講演概要 | 建築物(住宅)の建築物の断熱性能の省エネ法に基づく評価方法、基準の変遷を概説し、その簡易実測評価手法を戸建て住宅を対象とした事例を紹介します。 | | |